



はんだ山の風

東北地方太平洋沖地震の被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。



▲ 3月16日 福島へ出発



3月16日、18日の両日、
本院の医師、看護師が救援のため
福島、宮城へ向けて出発しました。

3月18日 宮城へ出発 ▶



Contents

- P2 真のチーム医療とは? 副病院長(運営・管理担当) 小林 利彦
- P2 新任教授の紹介 皮膚科教授 戸倉 新樹
- P3 シリーズ最先端医療「3T MRI装置とPET/CT装置の設置」
放射線科教授 阪原 晴海
- P4 外来棟改修工事のお知らせ
- P6 病気 ここが知りたい「副腎性高血圧」
第2内科(内分泌代謝内科) 講師 沖 隆
- P6 「ウインターコンサート」が開催されました 医事課
- P7 ボランティア活動懇談会が開催されました。 医事課
- P7 学生によるトリアージ訓練について 救急医学教授 青木 克憲
- P8 「がんサロン ワルツ」開催のお知らせ
- P8 交通のご案内



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

- お問い合わせ
- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
 - 看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

真のチーム医療とは？

「はんだ山の風」も第3号となり「巻頭の辞」の担当が回ってきましたので、「真のチーム医療」について語ってみたいと思います。

病院内には様々な職種の方々がいますが、大学病院等では、医師を頂点としたヒエラルキーが確立され、看護部、薬剤部など、各部署においてもセクショナリズムの傾向が強いと思われます。そのような状況下、何かと「チーム医療」が叫ばれますが、委員会等で同じテーブルにつくことだけで問題が解決するのでしょうか？そもそも、教育環境や現場での問題意識が異なる多職種の間同士の、真に分かり合えるにはどうしたら良いのでしょうか？ある意味、「飲み会」等も重要だと思えますが、相手の懐に入って、その仕事環境や組織風土を理解することから始まることも多い気がします。当院でも、医療者サイドから、「事務職員は現場を何も分かっていない」との声を聞くことが少なくありませんが、私自身、事務方と一緒に部屋で働いてみて、彼ら彼女らの「つらさ」も理解できるようになりました。

当院では、職員数として、常勤704名、非常勤460名、外注・派遣等238名(2月現在)が働いています。不況のご時世ですが、病院が、地域として大

副病院長(運営・管理担当) 小林 利彦



きな雇用を生んでいるのは間違いありません。「医療は産業か？」について一方的に否定するつもりもありませんが、実際、これだけ大きな組織を人的にマネジメントし、Sustainability(持続性)を保つことの重大性を痛感する毎日です。

おそらく、誰だって仲間同士、楽しく仕事をしたいと思っているはずです。だからこそ、組織横断的に動ける人材を育て、上手く活用して、相互理解を図っていくことが重要だと考えます。当院では、未だ「真のチーム医療」を達成するに到っておりませんが、少なくともその重要性は認識していますので、今後も継続的に努力してまいります。

皆様方からもお気軽に、ご意見・ご助言をいただければ幸いです。

新任教授の紹介

皮膚科教授 戸倉 新樹

平成23年1月1日より皮膚科を担当させて頂くことになりました。8年前、浜松医大の助教授から産業医大教授に就任し、今年からまた浜松医大に転任致しました。出身は袋井市ですので、地元に戻ってきたこととなります。

私はもちろん皮膚科全般の診療をしておりますが、とくにアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、乾癬、そして皮膚のリンパ腫や黒色腫の病態解明と治療を行なってきました。その他、光線過敏症や職業性皮膚疾患も専門としております。

アトピー性皮膚炎や乾癬は患者数も多く、また慢性に経過する病気ですので、良い治療法が望まれています。この二つの病気の起こり立ちを調べる研究は、最近大きな進歩を遂げ、病気への理解は非常に深まりました。これを背景として、これらの疾患の治療はここ10年間で大きく変化しま

した。新規光線療法、生物学的製剤、免疫抑制薬外用と内服などが導入され、治療のオプションは非常に広がりました。どの治療を選択するかは、重症度や経済的・社会的問題などを熟慮して決めていきます。一方では、皮膚リンパ腫などに対する新しい皮膚がんの治療薬も、今後登場しつつあります。これらの治療を病気の種類と程度に応じて使っていくことが大事となります。

浜松医大附属病院は新しくなり、清々しい雰囲気の中で診療を行なっております。診断と治療の向上を目指し先進的な医療を行なっていくことはもちろんですが、この新しい病院の雰囲気そのままの清潔感と安心感に満たされた医療を目指したいと思います。





3T MRI装置と PET/CT装置の設置

放射線科教授 阪原 晴海



平成23年度より附属病院で3T（テスラ）のMRI装置とPET/CT装置が稼働いたします。MRIに関しては従来1.5TのMRI装置2台で検査を行っていましたが、検査依頼数の増加に伴い検査待ち日数が増加し、患者の皆様にはご迷惑をおかけしていましたが、1台増設することで待ち日数の短縮が図れます。今回設置するのは磁場強度の強い最新鋭の機種ですので、画質がさらに良好となります。一方、PETも16列CTを搭載した専用のPET装置が導入されることで、ガンマカメラで撮像していた画像が飛躍的に改善されます。検査時間も著しく短縮され、FDGを用いる腫瘍検査に威力を発揮します。本装置は医学部に設置されるサイクロトロンとともに研究に活用されることも期待されています。



MR装置(3T)



PET/CT装置

※PETセンターは地下1階 MRセンター隣に新設され、4月から稼働します。

外来棟改修工事のお知らせ

病院再整備計画の一環として、平成21年に病棟の竣工、使用を開始しました。外来棟は平成23年3月から平成25年7月までの予定で改修工事を始めます。

外来棟改修工事については、一期工事（平成23年3月～平成23年12月）と二期工事（平成24年1月～平成25年7月）に分けて実施を予定しています。

まず、一期工事では、外来棟3階血液浄化療法部、2階光学医療診療部の改修をします。平成24年1月には、3階に眼科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、精神科神経科、皮膚科が移転します。また、医療福祉支援センターが2階から1階へ、病院正面玄関北側ロータリーに設置した仮設外来棟では、内科、外科、小児科、整形外科、泌尿器科、産科婦人科、麻酔科蘇生科、形成外科の診療科がこの場所で平成24年12月末までの1年間にわたり診療を行います。

次に二期工事では、2階玄関の外来ホールの改修、1階食堂等の福利施設の改修をします。外来棟2階、3階の外来診療科の跡地を1年間掛けて改修を行い、平成25年1月に仮設外来棟で診察を行っていた診療科が改修後の場所に戻ってきます。

患者さんをはじめ、県内外の関係医療機関などの方々には、改修期間中、病院正面玄関北側ロータリーの通行禁止、仮設外来棟での診察、騒音等大変ご迷惑をお掛けいたしますが、事故の無いよう万全の注意を払い進めてまいりますので、ご理解とご協力の程をお願いいたします。

（病院再整備推進事務室）



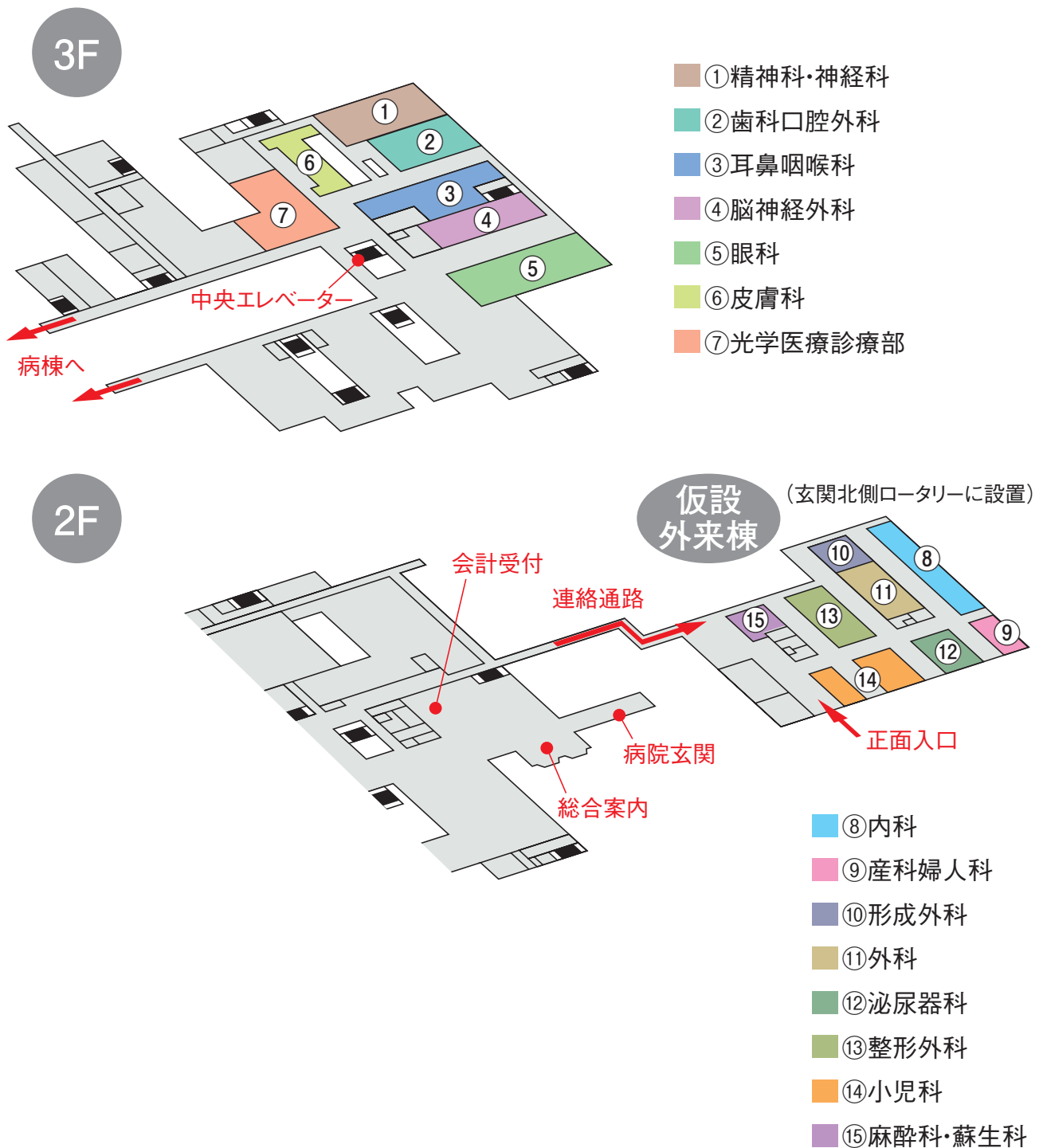
（病院改修イメージ図）

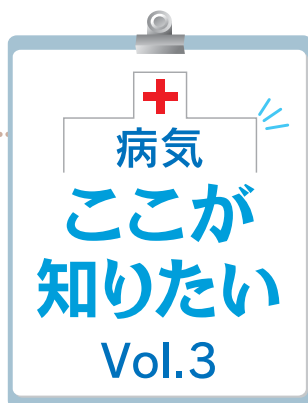
平成23年度の主な改修

浜松医科大学医学部附属病院では、「50年先を見据えた病院づくり」を行うため病院再整備を進めております。

ここでは平成23年度の病院改修についてご紹介します。

平成24年1月からの診療科配置図





副腎性高血圧

第2内科（内分泌代謝内科）講師 沖 隆

その副腎を摘出することによって、血圧が正常になることも少なくありません。両方の副腎が原因の場合は、お薬による治療です。一般的な高血圧症にはあまり用いられない抗アルドステロン薬が良く効きます。左右のいずれかあるいは両側の副腎が原因と書きましたが、その正確な診断は容易ではありません。CTでは分からない場合もあり、選択的副腎静脈サンプリングによる診断が専門施設として標準になっています。当院では、放射線科医の活躍もあり、東海地区随一の数（患者数）と質（手技成功率）を維持しています。週に数名の患者さんが紹介受診され、10年前の数十倍に達しています。忙しくもありますが、副腎の手術後にそれまで内服していた降圧薬を中止できた方や抗アルドステロン薬で見事に正常血圧を維持されている患者さんを拝見できるのは医師冥利に尽きます。副腎の病気は、原発性アルドステロン症以外にも高血圧症の原因になるものがあります。高血圧症となられた方には、必ず医療機関を受診し、適切な検査（血液・尿・画像）や治療を受けるようお奨めします。

高血圧症と言えば、塩分過剰摂取や肥満など生活習慣病の一部あるいは遺伝と考えられがちでした。患者さんから「お薬を一度始めたらお終いなので、治療はいやです」と言う誤解を何度も聞きます。検査法が普及し、高血圧症患者の10%程度に原因がはっきりした2次性高血圧症が見つかるようになりました。特に、副腎皮質から分泌され、血圧を上昇させるアルドステロンというホルモンが増加する“原発性アルドステロン症”は、高血圧症患者の内5~10%に存在することが分かりました。原発性アルドステロン症は、年齢に比して重症の高血圧、血液中のカリウム値も低下しやすく、心不全になりやすい特徴があります。副腎は左右の腎臓の上前部にあり、原発性アルドステロン症も副腎の左右いずれかが原因の場合と両側が原因の場合があります。片側が原因の場合は、

「ウインターコンサート」が開催されました

2月16日（水）、病院多目的ホールにおいて、浜松医科大学 学生有志による「ウインターコンサート」が開催されました。コンサートは本学オーケストラ部員による「星に願いを」「カノン」「八つの小品」の3曲をクラリネット、チェロ、ピアノの優しい音色で、第二部は4年生によるオリジナルフイーリング曲から5曲が演奏されました。聞き覚えのある曲からオリジナル曲まで幅広く楽しむことができました。

当日は寒い中にもかかわらずたくさんの患者さんやご家族が会場を訪れ、心温まる演奏に楽しいひと時を過ごしていただきました。学生有志の皆さんありがとうございました。

（医事課）



ボランティア活動懇談会が開催されました。

2月23日（水）ボランティア活動員の皆さんと病院職員との懇談会がありました。病院長からボランティアの皆さんへ、日ごろの活動への感謝の言葉で懇談会は始まりました。当日は、皆さんから日ごろの活動を通じて不便を感じていることや要望など活発に意見交換がなされました。

職員では気がつかない「患者さんの視点」で見た浜松医大病院を知ることができ、有意義な懇談会となりました。この会で得たご意見や要望を今後の患者サービスに反映させることを約束して懇談会を終了しました。

浜松医科大学附属病院ではボランティアを募集しています。活動内容は外来患者さんの案内、再来受付機操作補助、院内環境整備、患者図書室の本の整理などです。ボランティアに興味のある方は医事課担当者までご連絡ください。皆様からのご連絡を心よりお待ちしております。（医事課）



医事課担当者 宮津 TEL：053-435-2604
FAX：053-435-2153

学生によるトリアージ訓練について

救急医学教授 青木 克憲

1月17日（月）午後、多目的ホールで、医学科4年生を対象にトリアージ訓練を行いました。模擬傷病者20人を円周状に配列し、その外側に、トリアージチームが配置し、1人の模擬患者につき2分間でトリアージタグの記載を完了し、時計回りに回転する訓練です。模擬患者さんは、各部位のけがに加えて、圧挫症候群、パニック、家族を亡くしその悲しみを訴える人、胸痛、腰痛、あるいは透析、在宅酸素療法、妊婦などの災害時要援護者など多彩です。開始1時間前に、模擬患者のメイクと演技指導を行います。痛みの静かな、あるいは大げさな表現、明確な知覚・運動麻痺、激しい息遣い、不穏な行動・興奮状態、茫然自失、ショックにより周囲に無関心な状態などについて、アドリブを入れた指導をします。模擬患者になってくれた学生は、自分の症例にできるだけ忠実な感情を表現しようと頑張ってくれます。トリアージチームから見た優秀演技の患者さん、あるいは、患者の視点から見て、どのチ

ームが救護チームとして良かったかについて発表してもらいました。東海地震の第三次被害想定では、医大周囲から収容される傷病者数は、重症120名（死亡21例を含む）、中等症443名（入院が必要）、合計563名と見込まれています。来年の訓練では、院内からもっと多数の見学者に参加をお願い申し上げます。



外来診療日一覧

H 23.4.1 現在

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内科 435-2632												
総合内科 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第一内科 (消化器内科)	○	○	○	※○	○	○	○	○	※○	○		※午後診察のみ
(腎臓内科)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(神経内科)	○	※○	○	○	○	○	※○	○		○		※午前診察のみ
第二内科 (肝臓内科)	○	○		○	※○	○	○		○	※○		※予約のみ
(呼吸器内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
(内分泌・代謝内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
第三内科 (血液内科)	○	※○	○	○	○	○	※○	○	○	○		※午後診察のみ
(免疫・リウマチ内科)	○		○	○	※○	○		○	○	※○		※午前は予約のみ
臨床薬理内科	※○			※○		※○			※○			※予約のみ
循環器内科	○		○	○	○	○		○	○	○		
ペースメーカー外来								※○				※午後 (3ヶ月毎予約のみ)
ピロリ菌外来 (自費診療)	※○					※○						※予約のみ
精神科神経科 435-2635												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(森田療法)								※○				※午後診察のみ
(児童思春期)							○		○			
(摂食障害外来)								※○				※午後診察のみ
(認知療法外来)									○			
小児科 435-2638												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○		○	○		
(新生児フォローアップ)							※1○		※2○			※1 午後診察のみ ※2 不定期
(乳児検診)	※○					※○						※午後 (予約のみ)
(内分泌)	※1○	※1○		※1○	※1○	※2○	○		※1○	○		※1 は午前診察のみ ※2 は15時から
(心臓)		※1○		※2○	※2○		※1○		※2○	※2○		※1 午前診察のみ ※2 午後予約のみ
(血液)									※1○	※2○		※1 午後診察のみ ※2 第2・3・4 週午後診察のみ
(アレルギー)						※1○			※2○			※1 午前・15時から (予約のみ) ※2 予約のみ
(神経)				※○	※2○		※1○		○	※2○		※1 予約のみ ※2 午後は予約のみ ※は午前のみ
(腎臓)				※○	※○				※○	※○		※午後診察のみ
第一外科 435-2641												
(呼吸器)			○		※○			○		※○		※午前診察のみ
(小児)		※○					※○					※午後診察のみ
(消化器・内視鏡)	○		○		○	○		○		○		
(乳腺)	○	○			○	○	○			○		
心臓血管外科 (初診・再診)	○		○		※○	○		○		※○		※予約のみ
第二外科 435-2642												
(初診・再診)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(腸管)	○					○						
(食道・胃)			○					○				
(肝・胆・膵・門脈)					○					○		
(血管)		○					○					
(緩和ケア外来)				○					○			
光学医療診療部			○						○			
整形外科 435-2647												
(初診・再診)	○		○	※○	○	○		○	※○	○		※午前予約のみ
(教授外来、脊椎)	○			※○		○			※○			※午前予約のみ
専門外来 (骨粗鬆症)				※○					※○			※午前診察のみ
(リウマチ)			※1○	※2○				※1○	※2○			※1 午後診察のみ ※2 午前診察のみ
(手・末梢神経)			※○					※○				※午前診察のみ
(脊椎)	※○					※○						※午前診察のみ
(腫瘍)			※○					※○				※午後診察のみ
(股関節)					※○					※○		※午前診察のみ
(肩関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(膝関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(小児整形)	※○					※○						※午後診察のみ

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
脳神経外科 435-2644 (初診・再診)	○	○		○	○		○		○	○		
皮膚科 435-2650 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(乾癬外来)	○					○						
(アトピー外来)												
(光線過敏症外来)		※○					※○					※奇数月第4週のみ
(脱毛症外来)	○					○						
泌尿器科 435-2653 (初診・再診)	○	○	○	○			○	○	○			
(腎移植外来)			※○	○				※○	○			※第1・3・5週のみ
(結石外来)		○		○			○		○			
(排尿障害外来)		※○					※○					※午前診察のみ
(不妊症外来)	※1○				※2○	※1○				※2○		※1午後診察(第2週は休診)のみ ※2午後予約のみ
(前立腺密封小線源外来)		※○					※○					※午前診察のみ
眼科 435-2656 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○		○	○	○		
専門外来 (網膜変性外来)						※○						※第4週午後のみ
(小児・弱視斜視外来)								※○				※午後予約のみ
(ロービジョン)										※○		※午後予約のみ
耳鼻咽喉科 435-2659 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
特殊外来 (腫瘍外来)	○					○						
(耳外来)				○					○			
(めまい外来)				○					○			
(耳鳴外来)		○					○					
(難聴外来・人工内耳外来)		○					○					
(睡眠時無呼吸・顔面神経外来)					○					○		
(鼻副鼻腔・アレルギー外来)				○					○			
産科婦人科 435-2662												女性医師ご希望の方はお申し出ください
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(婦人科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(産科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(腹腔鏡外来)		※○					※○					※午後予約のみ
(不妊外来)	※○	※○		※○	※○	※○	※○		※○	※○		※午後診察のみ
(光療法外来)			※○					※○				※午後予約のみ
(母親学級)							※○					※予約制
(女性漢方外来)	※○					※○						※第2・4週予約制
放射線科 435-2665 (放射線治療外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		午前のみ
(血管内治療外来)		○		○			○		○			午前のみ
麻酔科蘇生科 435-2668 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		午前のみ
リハビリテーション科 435-2747 (初診・再診)		○	○	○			○	○	○			
形成外科 435-2647 (初診・再診)	○	○	○	○		○	○	○	○			T E Lは整形外科と共用 午前診察のみ
歯科口腔外科 435-2673 (初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(唇顎口蓋裂外来)			○					○				
(インプラント外来)			○					○				
(顎補綴)			※○					※○				※診察日は外来にお問合わせください

① 診療受付時間

一般外来 午前 8時30分 ~ 午前11時まで
 専門外来
 専門外来 午後 0時30分 ~ 午後 2時まで

② 休診日

土曜日および日曜日
 祝日法による休日
 12月29日~翌年 1月 3日まで

「がんサロン ワルツ」開催のお知らせ

日時：毎月、第2水曜日 14:00～16:00

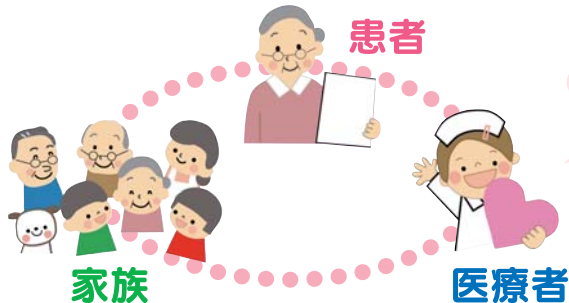
※ただし、祝祭日の場合は、
第3水曜日に開催します。

場所：浜松医科大学病院 病棟8階
展望喫茶「ムーアンジュカフェ」

対象者：がん患者、家族などの支援者

- 内容：①患者さん同士、家族同士の交流、情報交換
②病気や治療に関する学習
③スタッフがお話を聞き、場合によってはさらに専門職種（医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー等）に相談することもできます。
④癒し空間として、景色をみながらほっとすることもできます。

浜松医科大学病院以外で
治療している方、
そのご家族もご遠慮なく、
お気軽にご参加ください。
事前申し込みの必要はありません。
参加費は無料です。



ワルツを奏でるように
三者が連携できる会にしましょう♪

問い合わせ先
浜松医科大学医学部附属病院 医療相談室
TEL:053-435-2772
(月～金曜日 9:00～16:00)

交通のご案内



当院は日本医療機能
評価機構認定病院です。

病院広報 **ほんだ山の風** 第3号 平成23年4月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>